

第25回 (R3.5月)

- ・本市経済施策の現状・課題及び委員の課題認識を踏まえた、会議の方向性の検討

第26回 (R3.8月)

- ・現在の感染拡大状況を踏まえ、取り組むべき支援策は何か
- ・アフターコロナを見据え、取り組むべき施策は何か

第27回 (R3.11月)

- ・新型コロナウイルス感染拡大に対応した経済対策について
- ・イノベーションによる新たな成長に向けた取り組みについて
- ・経済情勢と今後の仙台市の経済成長

第28回 (R4.6月)

- ・現戦略における2022～2023年度の事業の方向性について

第29回 (R4.10月)

- ・地域企業のデジタル化が進まない要因やデジタル化に向けた支援策について

第30回 (R5.3月)

- ・令和5年度施策について
- ・中小企業が抱える課題と地域経済動向を踏まえた今後の施策の方向性
- ・令和3年度～令和4年度会議の総括

成果

○地域経済への影響を最小限に抑える取り組み時短要請等関連事業者支援金の支給

緊急事態措置やまん延防止等重点措置等による影響を受け、売上が一定以上減少した市内事業者へ支援金を支給。10月に受付開始した第3次より、支給額の上限を引き上げた。

感染症拡大防止協力金の支給

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために県が行う営業時間短縮等の要請に全面的に協力した飲食店に対し協力金を支給。

○経済環境の変化を踏まえた変革の促進中小企業チャレンジ補助金

業種転換やビジネスモデルの変革などの新規プロジェクトにチャレンジする事業者への補助金を助成。10月に募集開始した第2回より、協業の取り組みを支援する「協業枠」を創設した。

○今後の仙台市の経済成長について

AI等のIT技術を活用した新事業創出や、高度IT人材の育成支援を引き続き行うほか、新たにX-TECH関連事業の一体的・戦略的な情報発信により都市ブランディングの強化を図る。

○中小企業の課題解決支援

事業者が抱える様々な経営課題や各種補助金の申請等に対してワンストップで相談対応を行うほか、事業の変革に取り組む事業者に対して伴走支援を行う。

自社の経営資源だけでは解決が難しい経営課題を抱える事業者に対し、ノウハウを持つプロ人材をマッチングし、伴走支援することで、課題解決を図る。

○社会情勢の変化に対応する中小企業への支援

円安の影響等による輸出の好機を捉え、海外販売会を開催することにより、中小企業の海外市場開拓を支援する。

○地域企業のデジタル化に向けた支援策について

県が実施する伴走型支援や国が拡充を図っている支援メニューの周知や獲得支援の充実を図るとともに、デジタル化の体験機会等の提供を強化する。